

# 「道徳の手引き」の作成

研究2年目の授業支援部である議論班とスタイリング班が協力し、『柏原小学校 道徳の手引き』を作成した。この手引きの中には、研究の指導者の先生からのご指導や、心のものさしや心情円盤などの議論するための様々な手立て、切り返しの発問例、学校で保管している道徳資料や掲示物リストなどが整理されている。



柏原小 道徳科  
指導の手引き

2020改訂

## 五輪カード

道徳の学びを効果的に進めるための道徳の授業は、道徳カードを使い、一着毎のカードを提示する各時間を行い、その際、必ずしてこの道徳カードを確認しながら授業を進めなければならない。



## 道徳人物になりきるための工夫

- 服装をかける（なりきる効果）
- 道徳の場面には、「先生がやる場面はわかるよ！」
- ○に「わーっ」といって大げさに反応。
- 服装のスタイルを参考にした時、言葉/行動/表情/姿勢は、時には教師が模倣すること。



- お互いの小道具を使ったロールプレイ
- 体験的な活動を行う際、お互いの道具を使う時は場面に入り込み、道徳人物になりきるように励ますことが出来る。ロールプレイをしている児童の様子や教師が発問したときに見える工夫が効果的。



## 名刺カード



お互いのお互いに関心がある場面には、各自準備した名刺カードを交換させるだけでなく、「言葉は丁寧な言葉で、挨拶も丁寧にして、挨拶の言葉で応答する。」

## （2）それぞれの道徳の理解

自分の考えを持つたあと、その考えをお互いに見えよるようにつなげると、お互いの考えの類似点や相違点について話し合いが深まっていく。

## 五輪カード

主に道徳教材において、正の道徳と負の道徳がどの程度で対照しているかを示す事で、その際、その両方の道徳を同時に提示することで、その両方の道徳が対照になる。



表裏で道徳の両面を対比させた上で、その両面を同時に提示することで、その両面の対比が対照になる。

ワークシートにも道徳問題を書き込んでおくことで、対比させる対照になる。

## 心のものさし

道徳授業において、ロールプレイなどで場面設定をする際は、全体の場面と、誰がどうなっているかを観察できるようにする。また、全体の場面と誰がどうなっているかを観察できるようにする。

道徳授業の場面の状況を対比させた上で、その両面を同時に提示することで、その両面の対比が対照になる。

（例）道徳授業で対比させた上で、その両面を同時に提示することで、その両面の対比が対照になる。

令和2年度は A4版にして教室保管をお願いした。来年度は、手引きに直接書き込みをしたり、毎時間の授業の際に取り出して活用したりと、今まで以上に役立ててもらうために各教員に配付する予定である。

## 『柏原小 道徳科 指導の手引き』

## 【柏原小オリジナル手引きとして毎年更新】

今年度は、手引きにあった「板書づくり」について加筆を行った。他校の取組を例に構造的な板書についてまとめた。

## 1. 板書の例

- 二、 「自由」にまつわる事例の整理と分類（自由と責任の関係）
- 三、 自由と責任の関係

- 四、 自由と責任の関係

## A 初めと終わりで、「自由」の捉え方の違いが見える板書



## B 「自由」にまつわる考え方の違いを整理している板書

